

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（23） 学校名 豊田市立加納小学校

1 テーマ

地域に愛着をもち、人と関わる力を育む
－生活科・総合的な学習の時間を核にして－

2 ねらい

- ・地域の文化や素材を生かした課題解決学習を充実させ、地域への愛着を深める。
- ・課題を解決する過程において、人との関わりを大切にする。

3 活動内容

地域素材を積極的に取り入れた単元展開を行う。

- | | | |
|------|----|--|
| ・1年生 | 生活 | 昔の遊び |
| ・2年生 | 生活 | 学区探検 野菜作り |
| ・3年生 | 総合 | 桃づくり |
| ・4年生 | 総合 | 地域の防災調査を核とした環境学習 |
| ・5年生 | 総合 | 地域の文化・風習を学ぶ活動 伝承芸能「棒の手」「ざんざ節」「猿投山や猿投神社の歴史」 |
| ・6年生 | 総合 | 学校、地域をより良くしようとする活動 地域の福祉 伝承芸能「棒の手」「ざんざ節」 |

4 成果と課題

- ・「棒の手」「ざんざ節」については、保存会の協力のもとに伝承し、5・6年生が運動会で発表することができた。保存会の方々にとっても、猿投神社の神事への参加を広めることができたと感謝の言葉をいただくことができた。
- ・「生活科」や「総合的な学習の時間」は、地域の人・もの・ことを中心におき、地域の方々から学びながら学習活動を展開している。体験活動を重視し、特に桃づくりは校内の桃の木に継続して関わりながら成長の喜びを感じることができ、講師の方のアドバイスを子どもたちも心待ちにしている。
- ・課題は、子どもたちの関心が毎年少しずつ変化することに合わせ、カリキュラムの計画も改善していくなければならないことである。
- ・地域の方々の高齢化に伴い、毎年同じような活動も難しいため、地域の学びの開拓も必要である。
- ・校内整備員の配置により、樹木の選定・畠の整備などで大いに助かっている。
- ・学校図書館司書の配置により、図書館の使い方に関する授業を全学年実施していただいた。他にもカリキュラムに応じた図書館に関連した授業を数多く実施した。本の整備・図書館の掲示物づくりも季節ごとに行われ、常に良い学習環境が整えられた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・「学校ホームページ」において特色ある学校づくり推進事業についての計画を掲載したほか、随時生活科や総合的な学習の授業の様子などを掲載した。
- ・「学校だより」「学年だより」を通しての広報も併せて実施した。
- ・運動会では、伝統芸能発表の演目に地域の方々や保存会の方を招待した。
- ・学習のまとめとして、「すずかけ学習発表会」を行い、学んだことを保護者や地域の方に参観していただき、特色ある学校づくり推進事業の取組に関連する発表を行うことができた。